



# 山形県感染症発生動向調査

平成30年第27週(7月2日～7月8日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)  
TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486  
URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>  
2018年7月11日 発行

## <定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少 ※◎:警報レベル ○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県) 第1～27週
	第26週	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	
<b>インフルエンザ定点</b> (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	422 0.09																16171
<b>小児科定点</b> (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	1247 0.39	9 0.30	2 0.07	▼	3 0.23		▼	1 0.33		▽	5 0.83	2 0.33	▼				353
咽頭結膜熱	2413 0.76	30 1.00	16 0.53	▼	13 1.00	4 0.31	▼	1 0.33		▼	14 ◎2.33	10 ◎1.67	▼	2 0.25	2 0.25		557
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8329 2.64	126 4.20	62 2.07	▽	66 5.08	31 2.38	▽	4 1.33	1 0.33	▽	27 ◎4.50	21 3.50	▼	29 3.63	9 1.13	▽	3136
感染性胃腸炎	18093 5.73	158 5.27	123 4.10	▼	53 4.08	56 4.31	△	5 1.67	7 2.33	△	54 9.00	34 5.67	▼	46 5.75	26 3.25	▼	4728
水痘	1153 0.36	17 0.57	9 0.30	▼	4 0.31	2 0.15	▼	2 0.67		▼	4 0.67	7 1.17	△	7 0.88		▽	390
手足口病	5053 1.60	44 1.47	84 2.80	▲	42 3.23	64 4.92	▲		17 ◎5.67	△	1 0.17	3 0.50	▲	1 0.13		▽	487
伝染性紅斑	1254 0.40	26 0.87	16 0.53	▼	3 0.23		▽				23 ◎3.83	16 ◎2.67	▼				270
突発性発しん	1783 0.56	20 0.67	23 0.77	△	3 0.23	9 0.69	△	1 0.33	2 0.67	△	11 1.83	5 0.83	▽	5 0.63	7 0.88	△	431
ヘルパンギーナ	3161 1.00	40 1.33	82 2.73	▲	26 2.00	45 3.46	▲		1 0.33	△	14 2.33	36 ◎6.00	△				288
流行性耳下腺炎	642 0.20	3 0.10	3 0.10		3 0.23	1 0.08	▽		2 0.67	△							81
<b>眼科定点</b> (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	17 0.02																
流行性角結膜炎	666 0.95	5 0.63		▽	1 0.25		▼	1 1.00		▽	2 2.00		▽	1 0.50		▽	58
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	20 0.04																20
クラミジア肺炎	4 0.01																
マイコプラズマ肺炎	111 0.23	3 0.30	2 0.20	▽	1 0.25	1 0.25						1 0.50	△	2 0.67		▽	70
細菌性髄膜炎	14 0.03	1 0.10		▽	1 0.25		▽										6
無菌性髄膜炎	18 0.04																4

## <全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者			1		型別:O8 VT2
急性脳炎	患者	1				
百日咳	患者	2				ワクチン接種歴:4回 2人。小児 2人。

## <通信欄>

※トピックスで、手足口病、ヘルパンギーナについて掲載しています。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ															
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症		2													2
咽頭結膜熱		4	4	1	2	3		1	1						16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			2	3	13	8	6	7	8	2	1	10		2	62
感染性胃腸炎	3	10	23	14	12	10	8	10	10	3	4	13	2	1	123
水痘				2	1		2		2	1		1			9
手足口病	1	7	27	23	10	7	5	4							84
伝染性紅斑					1		4	6	1	1	1	2			16
突発性発しん		10	9	2	2										23
ヘルパンギーナ		6	22	16	14	11	4	2	3		1	3			82
流行性耳下腺炎			1			1						1			3

<平成30年5月 月報>

2018年6月27日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～5月	
	4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月		
<b>STD定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	14	24	7	13	5	6	2	3		2	98
	定点当たり	1.40	2.40	1.75	3.25	5.00	6.00	1.00	1.50		0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	11	6	4	2	3	1	3	2	1	1	45
	定点当たり	1.10	0.60	1.00	0.50	3.00	1.00	1.50	1.00	0.33	0.33	
尖圭コンジローマ	報告数	3	3	1	1				1	2	1	14
	定点当たり	0.30	0.30	0.25	0.25				0.50	0.67	0.33	
淋菌感染症	報告数	2	5	2	2				1		2	14
	定点当たり	0.20	0.50	0.50	0.50				0.50		0.67	
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	11	7		2	2			1	9	4	36
	定点当たり	1.10	0.70		0.50	2.00			0.50	3.00	1.33	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	18	13	11	5	1	2		1	6	5	85
	定点当たり	1.80	1.30	2.75	1.25	1.00	2.00		0.50	2.00	1.67	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											
	定点当たり											

<トピックス>

夏の感染症に注意しましょう

夏季は例年、手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱など、「夏かぜ」と呼ばれる感染症が流行します。

第27週は、手足口病の定点当たり報告数が最上地区で警報レベル、ヘルパンギーナの定点当たり報告数が置賜地区で警報レベルとなっています。

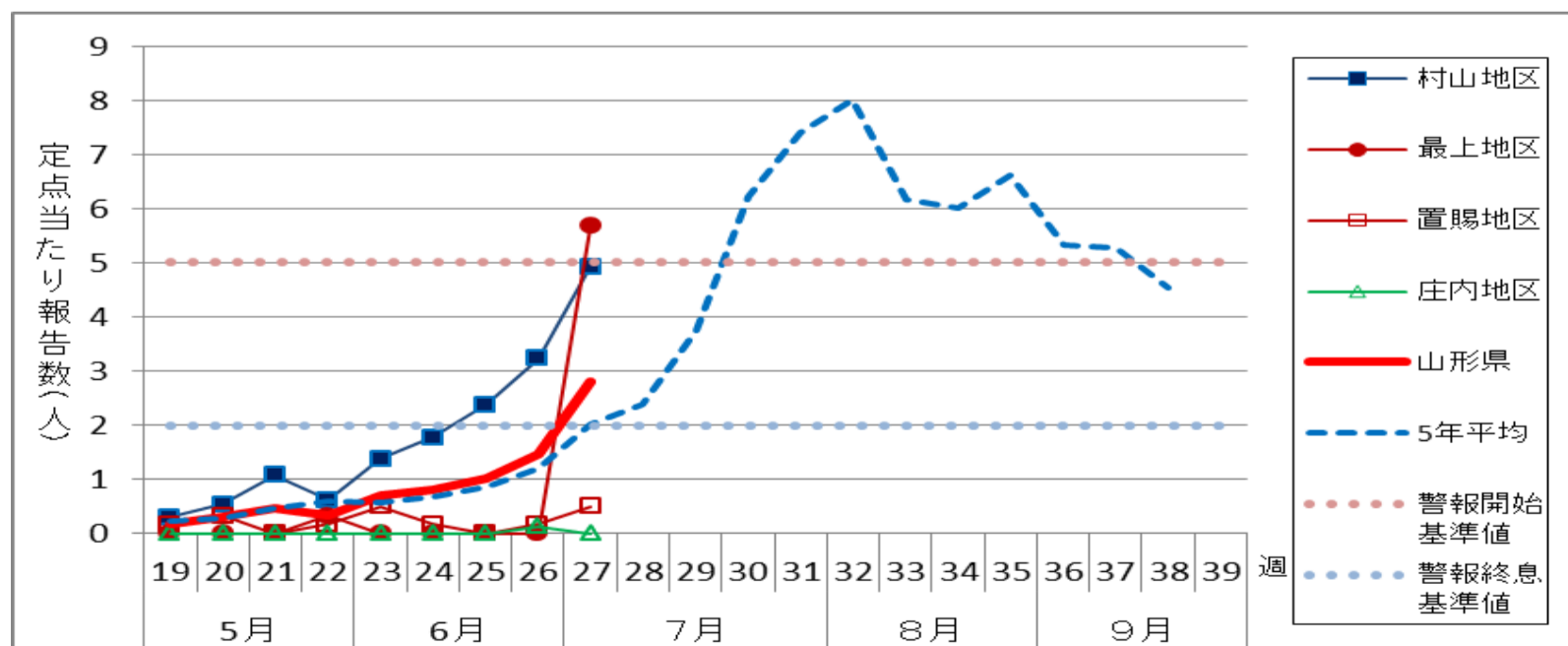
手足口病

エンテロウイルス(コクサッキーウイルスA16、エンテロウイルスA71など)による感染症で、4歳位までの幼児を中心に、夏に流行します。

主に口の中や、手のひら、足のうらなどに水疱性の発疹がみられ、熱が出ることもあります。高熱にはならないことがほとんどです。

- ・警報開始基準値:5人 警報終息基準値:2人
- ・第27週 定点当たり報告数(山形県:2.80人)
- 村山:4.92人 最上:5.67人 置賜:0.50人 庄内:0.00人

・定点当たり報告数の推移(山形県)



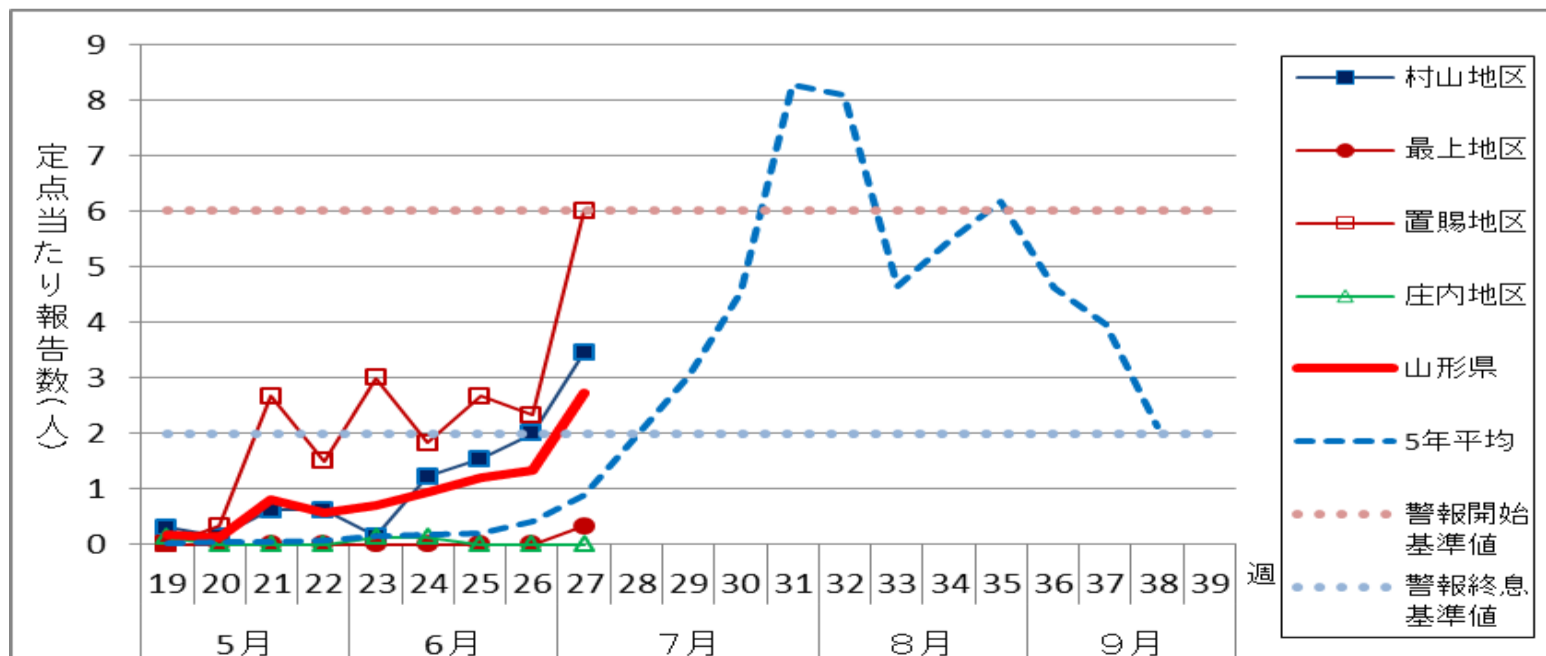
ヘルパンギーナ

エンテロウイルス(コクサッキーウイルスA群など)による感染症で、5歳位までの幼児を中心に、夏に流行します。

突然の高熱で発症し、続いてのどの痛み、のどの奥に水疱が現れます。のどの奥の水疱は、やがて破れて痛みを伴います。

- ・警報開始基準値:6人 警報終息基準値:2人
- ・第27週 定点当たり報告数(山形県:2.73人)
- 村山:3.46人 最上:0.33人 置賜:6.00人 庄内:0.00人

・定点当たり報告数の推移(山形県)



手足口病、ヘルパンギーナの治療は、対症療法が中心となります。口腔内の痛みにより、水分がとりにくい場合もありますので、脱水に注意しましょう。

予防法としては、患者との濃厚な接触を避けることと、うがい、手洗いを徹底することが大切です。回復後も、便中には2～4週間にわたり、ウイルスが排泄されますので、おむつ交換や、トイレの後には特に入念に手を洗いましょう。

しっかり手洗い!



おむつ替えの後は入念に!

